



Monthly YSFH News (Electronic version)

発行：横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 TEL:045-511-3654 FAX:045-511-3644

HP:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/sidou2/koukou/sfh/>

夏季休業も終わり、学校に活気が戻ってきました。始業式前に「物理チャレンジ2013」や「日本生物学オリンピック2013」、「第3回高校生バイオサミット」などのコンクールで成果を上げた生徒が数多く紹介されました。2年次生は、9月7日(土)にサイエンスリテラシーⅡ分野別発表会を迎えました。夏季休業中も学校に来て熱心に実験データを取る生徒も見られ、プレゼンデータをまとめて研究発表に臨みました。今後、10月のマレーシア海外研修旅行での英語発表までは気の抜けない日々が続きます。

9月21日(土)・22日(日)は、本校の文化祭「蒼煌祭(そうこうさい)」を開催します。生徒たちは、クラスや部活での展示準備に力が入っています。当日は是非本校にお越しいただければと思います。

【独立行政法人宇宙航空研究開発機構 特別講演会】(7月21日)

天文部の生徒による企画で、阪本 成一先生(独立行政法人宇宙航空研究開発機構 広報部)を本校にお招きし講演をしていただきました。「JAXAから宇宙を学ぶ」というテーマのもと、「なぜ宇宙を目指すのか」「はやぶさはなぜ成功したのか」など様々なお話をしていただきました。

「宇宙に携わる仕事をしたいと思う気持ちが強くなり、将来が楽しみになりました」という感想や、このようなイベントを生徒自身が企画することにより、「企画の進め方など学ぶことがたくさんありました」という感想もあり、生徒にとって将来を考える上で大変ためになる講演会となりました。



【鶴見図書館・YSFH図書委員会 共同イベント】(7月26日)



鶴見区鶴見図書館にて、地域の子どもたちに科学実験の図書を紹介し、読書だけでなく科学に対する興味を持ってもらおうと、鶴見図書館とYSFH図書委員会が共同で企画した、小学生向けの科学イベント『夏休み科学遊びの会』を催しました。

午前は低学年向け、午後は高学年向けの内容を発表しました。今年で3回目となるこのイベントには多数応募があり、抽選で当選した子ども達との交流となりました。参加した子どもたちには楽しんでいただけたかと思えます。

【日本マイクロソフト株式会社と横浜市・横浜市教育委員会との連携強化】(7月29日)

日本マイクロソフト株式会社と横浜市・横浜市教育委員会は、「将来を担う科学者等の人材育成支援」「ICTの活用による女性の多様な働き方の支援」「オープンデータの推進による市内経済の活性化」を目指して、連携を強化すると発表しました。前回、2010年6月の連携協定は「YSFHでの人材育成」や「ICTを活用した先進的な教育環境づくり」を目指したものでした。

栗原校長は「YSFHでは、日本マイクロソフトの技術最高責任者が実際に教鞭をとるなどして、生徒のモチベーションを向上させている。また、日本マイクロソフトの支援による出欠管理や成績管理の校務システムの開発などの成果が上がっている」とこれまでの取り組みについて述べました。



【横浜市立生徒交流会】(8月2日)



横浜市立生徒交流会は、市立高校の生徒会を運営する上で、夏恒例の行事となっています。今年も、本校を会場として市立全日制・定時制高校(10校)の代表者がそれぞれの学校生活・行事に関しての情報交換・意見交換を行いました。

前半の全体会は、各校学校紹介を行いました。趣向を凝らしたプレゼンテーションとお互いの学校生活に興味をもったところで、後半は「体育祭」「球技大会」「文化祭」など、生徒会行事ごとに分かれて分科会を持ちました。今後、交流会で得られたものをそれぞれの学校に持ち帰り、日々の活動に生かすことができればと考えています。

【平成25年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会】（8月7日、8日）

パシフィコ横浜にて、「平成25年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会」が開催され、本校からは3名の代表生徒が参加しポスター発表を行いました。また、発表会後には海外から招待した生徒たちと国際交流を深めることができました。

＜本校の発表＞「手の動きでPCを動かすUIの開発」

カメラを使って手や物の動きでPCを操作できるプログラムを製作し、新UIの開発を目指す。その中でいかに実用化に向けた精度の向上をしたのか、その理論方法について



【第1回YSFH卒業生による進路フォーラム】（8月9日）



夏期講習第I期最終日、【第1回YSFH卒業生による進路フォーラム】が開催されました。同窓会が中心となって、後輩たちのために卒業生約70名が母校に集結しました。

はじめにホールで卒業生の自己紹介があり、その後ホールでは講演会、並行して交流センターでは大学別、学問系統別にブースを設けての相談会が行われました。

初めての試みでしたが、非常に盛況で、素晴らしい企画となりました。今後この行事もYSFHの伝統行事の一つになっていくのでしょうか。

【立命館守山高等学校「水環境研究・活動交流会」】（8月17日、18日）

立命館守山高等学校において「水環境研究・活動交流会」が行われました。

初日の口頭発表会で、本校生徒2名が「地域との連携活動に関する報告」というタイトルで研究発表を行いました。多くの質問が寄せられ、本校の活動を知ってもらう良い機会となりました。その後のポスターセッションでも、研究を紹介しつつ他校との交流を深めることができました。

二日目には、美崎自治会館で大川地域交流会が行われ、そこでも研究発表を行いました。また美崎自治会長の「大川活用プロジェクト」についての講演もあり、研究を通して地域と交流し地域貢献をすることの大切さを学びました。



【夏期講習】（8月23日）



本校では夏季休業中に【夏期講習】を実施し、多くの先生たちが、「基礎・基本」レベルから「応用・発展」レベルまで、習熟度に合わせた約100講座を設けています。

今年も、栗原校長自らが、国際人となる前提として日本文化を学びたいと思う生徒を対象とした講座「日本文化を学ぶ」や、コミュニケーション能力を鍛えたいと思う生徒を対象とした「言葉の力」を開講したほか、佐藤春夫前校長による、東京大学・東京工業大学・国公立大学医学部を目指している生徒を対象とした「難関大学対策」も実施し、夏休み中にも関わらず、多くの生徒たちが登校していました。

【第5回 マス・フェスタ 全国数学生徒研究発表会】（8月24日）

大阪府立大手前高等学校主催【第5回 マス・フェスタ 全国数学生徒研究発表会】に、本校サイエンスリテラシーII 数学分野の研究生徒3名（2年次生）が参加してきました。

「マス・フェスタ」は、生徒たちが数学についての研究発表を行うもので、松澤優実さんが「帽子の色あて問題の研究」について口頭発表とポスター発表を行い、紙谷将さんが「正七角形の作図道具の作成」、井上鴻志郎さんが「折り紙による様々な計算の図示と視覚化」についてポスター発表しました。



9-10月の予定

9月2日：始業式

9月7日：サイエンスリテラシーII 分野別発表会

9月21日、22日：蒼煌祭(文化祭)

10月8日-11日：2学期中間テスト

10月21日-25日：マレーシア海外研修旅行(2年次)

10月22日-25日：サイエンス・イマージョン・プログラム(1年次)